

雫石町生涯活躍のまち基本計画【概要】

～誰もが住みよいまちづくり～

●計画の位置づけ

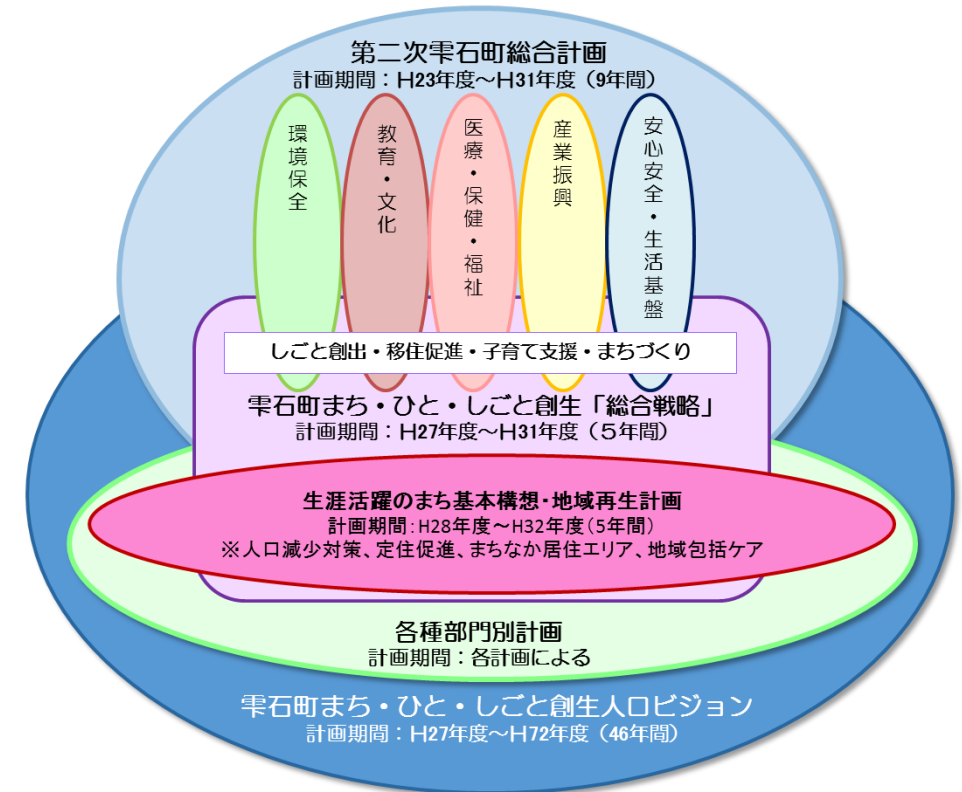
平成27年12月に国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げている「生涯活躍のまちの導入」を受け、「雫石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」下位計画として「生涯活躍のまち構想」の実現のために策定

●計画期間

平成29年度～平成32年度

●計画策定の背景

国が大都市圏から地方への新しい人の流れをつくる施策として策定した「生涯活躍のまち構想」の基本コンセプトを踏まえ、「町有地を活用した100年の森とまちなか居住の連携によるCCRC事業」をコンセプトとした「雫石町生涯活躍のまち構想」の具体的な推進を図るために、首都圏における移住ニーズや町の課題等を調査、整理し、計画に反映



移住者のニーズ

- ・Uターン移住の希望
- ・スローライフの実現
- ・移住先での仕事
- ・移住情報の入手

国の生涯活躍のまち構想

- ・高齢者の希望の実現
- ・地方へのひとの流れの推進
- ・東京圏への高齢化問題の対応

平成29年1月
策定

雫石町生涯活躍のまち構想
(平成28年度～平成32年度)

町の課題

- ・少子高齢化
- ・地域の衰退
- ・担い手不足
- ・雇用の減少
- ・町民の健康寿命の延伸

雫石町生涯活躍のまち基本計画

●基本理念

誰もが住みよいまちづくり

●基本方針

- ・ 国の「生涯活躍のまち構想」共通必須項目の達成
- ・ 多世代交流拠点施設の整備
- ・ モデルプロジェクトの実施効果の町内全域への波及

雫石町生涯活躍のまち基本計画の推進イメージ

